

林政 隔週刊

ニュース

RINSEI NEWS

隔週水曜日発行

平成6年6月9日第三種郵便物認可



森と木と人のつながりを考える

(株)日本林業調査会

発行所 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28
飯田橋ハイタウン204

TEL (03)6457-8381 FAX (03)6457-8382

MAIL info@j-fic.com

取引銀行 三井住友銀行飯田橋支店(普)810522

郵便振替 00160-8-98120

発行人 辻 潔

年間購読料22,000円(1部1,320円、消費税込み)(禁無断転載)

再生紙を使っています。

インターネット・ホームページ <http://www.j-fic.com/>

2025(令和7)年6月25日(水)

第751号

■ニュース・フラッシュ

- ・「骨太の方針」に集約化や林野火災対策など明記
- ・「森業」推進へ、地方みらい共創戦略の実現目指す
- ・大規模自然災害への対策強化などをJAPICが提言
- ・選挙ポスター掲示板に国産材を一林野庁が呼びかけ

■中央団体総会シーズンの動き

全市連／日合連／林機協／LVL協／全林協…など

■遠藤日雄のルポ&対論

中川・中川木材産業社長と“万博”を読み解く・下

■突撃レポート

フローリングの国産材化を先導・朝日ウッドテック

■地方のトピックニュース

- ・「高知県再造林支援基金」創設、所有者負担軽減
- ・N J 素流協の素材取扱量が過去2番目の水準に
- ・長野県林業大学校がカリキュラム刷新、学生募集
- ・埼玉県の実験者職員採用試験職種に「林業」追加

■ベンチャーの星

林業特化型の求人サイト「RINDO」が業績を伸ばす

3

7

9

13

16

21



森林空間を利用してE-バイク(電動アシスト自転車)、ヨガ、森林浴の3つを1日で体験するツアー「久々野の森時間～新緑の森を満喫する旅～」が6月8日に岐阜県高山市で行われた。(画像提供:(株)長瀬土建、関連記事 p19 参照)

◆「技能検定」を活かす——造生協・全素協

全国国有林造林生産業連絡協議会（高篠和憲会長）と全国素材生産業協同組合連合会（日高勝三郎会長）は5月22日の通常総会で所定の議案を承認し、表彰行事を行った。

全国造生協の高篠会長は、昨年度（2024年度）から開始した「林業技能検定」に触れ、「資格取得を林業就業者の処遇改善につなげ、技術力を高めていこう」と呼びかけた。



日高・全素協会長

また、全素協の日高会長は、トランプ政権による関税問題の影響や中国・欧州等の市場動向を踏まえ、「第4次ウッドショックもあり得るかもしれない国内では災害に加え、人手不足、物価高騰もあり、今年は波乱の年になるだろうが、安全第一で環境に配慮しつつ国産材の安定供給を実現していこう」と語った。

◆新たに副会長、専務、常務を選任——ログ協



大臣賞を受賞したJR東水巻駅

日本ログハウス協会（喜畑隆之会長）は、6月13日に通常総会を開いて、役員の変更を行った。喜畑会長（株）キハタトレーディング代表取締役）を再任したほか執行体制を刷新し、副会長に葛野耕司氏（株）M3代表取締役）と鈴木裕一氏（株）赤井製材代表取締役会長、専務理事に土倉宣也氏（有）土倉製材所専務

取締役、常務理事に芳賀沼克紀氏（株）芳賀沼製作代表取締役社長）をそれぞれ選任した。今年度のログハウス建築コンテスト受賞作品の表彰式も行い、国土交通大臣賞は福岡県水巻町の「JR東水巻駅」（使用樹種はスギ）、農林水産大臣賞は石川県輪島市の「応急仮設住宅 山岸町第3団地」（同）が受賞した。

中央団体総会シーズンの動き

◆現場に精通した人材育成を推進——全林協



西場・全林協会長

全国林業改良普及協会（西場信行会長）は、5月30日に通常総会を開催した。西場会長は、「地球温暖化対策や花粉の少ない苗木への植え替えなど再造林への期待が高まっている。森林経営管理法も改正された」と述べた上で、「様々な期待に応え新たな政策に対応するには現場の知識・技術に精通した人材の確保・育成が欠かせない」と挨拶した。

今年度事業では「技能検定向けテキスト」の発行などを計画している。

任期満了に伴う役員の改選も行い、西場会長らを再任し、新たに飯家晋一郎氏を業務担当理事に選任した。

◆副会長に三尾秀和氏が就任——林道安全協会



前田・林道安全協会会長

林道安全協会（前田直登会長）は、5月21日に定時総会を行った。前田会長は、「災害に強い森林づくりに向けて、強靱な林道の計画的な開設と適切な維持管理、交通安全の確保が課題であり、当協会としてもしっかりと取り組んでいきたい」と挨拶した。

議事では、所定の議案を承認するとともに

役員の変更を行い、前田会長らを再任したほか、三尾秀和・名古屋林業土木協会長を新たに副会長に選任した。

◆新会長に喜力哉氏——森林技術コンサル協

森林技術コンサルタンツ協議会（相川裕司会長）は、5月14日に行った通常総会で役員の変更を行い、相川会長（国土防災技術（株）会長）が退任し、新会長に（株）森林テクニクス社長の喜力哉氏が就任した。

地方のトピックニュース



湖畔でヨガを体験

Eーバイク、ヨガ、森林浴を丸ごと楽しむ「久々野の森時間」

岐阜県高山市の（株）長瀬土建（長瀬雅彦社長、第425号参照）は、森林空間を利用したツアー「久々野の森時間」新緑の森を満喫する旅」を6月8日に開催した。地元企業の（株）MGNと連携して、1日でEーバイク（電動アシスト自転車）、ヨガ、森林浴の3つを体験するプログラムを用意したところ、男性6名と女性3名の計9名が参加して、心身をリフレッシュした。同社は、林野庁などが指定している「森林サービス産業推進地域」の実施主体に登録されており、森林空間を活用したニュービジネスの創出などに取り組んでいる。

6月8日のツアーを行った高山市久々野町では、観光の目玉だった市営スキー場が2023年に廃止となり、新たな地域振興策が必要となっている。同社は、地元関係者で組織する地域振興策検討会議に参画し、10回以上のタウンミーティングなどを経た上で、「久々野地域の自然資源の活用」をテーマにしたツアーを企画した。

ツアーは、旧スキー場のひだ舟山リ

地方のトピックニュース

ゾートアルコピアとあららぎ湖を往復するコース（片道約6・2km）で行い、Eーバイクで移動しながら森林浴を楽しみ、湖畔でヨガを体験し、昼食では地域の食材を活かしたお手製弁当を味わった。参加者からは「普段できない体験ができて楽しかった」、「すぐくりフレッシュできた」などの感想が寄せられ、同社の担当者も「フィールド、ガイド、食などを地元関係者との連携で提供できた。今後も行っていきたい」と手応えを話している。